

第3章 対象道路事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法

本章に記載する「環境影響評価の選定項目」、「環境影響評価の選定環境要素」及び「選定した項目における調査、予測及び評価の手法」については、現時点において検討されている複数の計画路線案を考慮し、設定しました。

設定した調査案の内、今後PIにより決定したルートおよび構造等について、適宜調査の項目、地点等を変更したり、計画ルートからはずれた場合には調査を実施しないことがあります。

1. 環境影響評価の項目の選定

環境影響評価の項目の選定は、「長野県環境影響評価技術指針(平成10年9月28日 長野県告示第476号)」(以下「技術指針」という。)の規定に基づいて行いました。

選定にあたっては、事業特性及び地域特性を踏まえて、環境影響評価の対象項目を選定しました(表3.1.1参照)。

また、選定した項目について、技術指針の別表第1における環境影響を及ぼすおそれがある要因(以下、「環境要因」という。)に対し、その影響を受けるおそれがあるとされる環境要素について、「 : 環境影響評価を詳細に行う項目」、「 : 環境影響評価を標準的に行う項目」、「 : 環境影響評価を簡略的に行う項目」、「 : 一般的な保全対策で対応する項目」を設定しました(表3.1.2参照)。

表3.1.1 環境影響評価の選定項目

		事業特性・地域特性を踏まえた項目選定の理由 (項目を設定しない場合にあってはその理由)	項目選定の 有・無
大気質	環境基準項目	対象道路事業実施区域及びその周辺には、集落、教育施設、医療施設や社会福祉施設等の保全対象が存在するため、工事の実施に伴う建設機械の稼働、工事車両の運行及び道路の供用に伴う自動車の走行による周辺環境への影響のおそれがあります。	有
	粉じん等	対象道路事業実施区域及びその周辺には、集落、教育施設、医療施設や社会福祉施設等の保全対象が存在するため、工事の実施に伴う建設機械の稼働及び工事車両の運行による周辺環境への影響のおそれがあります。	有
	その他必要な項目	対象道路事業により、有害化学物質の使用、保管、生成等の計画はないため、その他必要な項目による周辺環境への影響のおそれはありません。	無
騒音		対象道路事業実施区域及びその周辺には、集落、教育施設、医療施設や社会福祉施設等の保全対象が存在するため、工事の実施に伴う建設機械の稼働、工事車両の運行及び道路の供用に伴う自動車の走行による周辺環境への影響のおそれがあります。	有
振動		対象道路事業実施区域及びその周辺には、集落、教育施設、医療施設や社会福祉施設等の保全対象が存在するため、工事の実施に伴う建設機械の稼働、工事車両の運行及び道路の供用に伴う自動車の走行による周辺環境への影響のおそれがあります。	有
低周波音		対象道路事業実施区域及びその周辺には、集落、教育施設、医療施設や社会福祉施設等の保全対象が存在するため、対象道路近傍で発破工事を実施したり、高架構造で通過することがある場合、周辺環境への影響のおそれがあります。	有
日照障害		対象道路事業実施区域及びその周辺には、集落、教育施設、医療施設や社会福祉施設等の保全対象が存在するため、対象道路が高架構造で通過することがある場合、周辺環境への影響のおそれがあります。	有
悪臭		対象道路事業実施区域には、休憩施設等の計画予定はないため、汚水等の排水による周辺環境への影響のおそれはありません。しかし、対象道路事業実施区域及びその周辺には、集落、教育施設、医療施設や社会福祉施設等の保全対象が存在するため、工事中の重機の稼働や走行、舗装工事による周辺環境への影響のおそれがあります。	有
水質	健康項目	対象道路事業実施区域及びその周辺には、人の健康の保護に関する環境基準項目の排出、使用又は生成する施設の計画予定はありませんが、トンネル等の工事により有害物質の発生の恐れがあります。	有
	生活環境項目	公共用水域において掘削及び浚渫等により水底の改変を伴う工事、工事施工ヤードの設置、工事中道路の設置、トンネル工事を実施する場合に水の濁りのおそれがあります。また、対象道路事業実施区域には休憩所設置の計画予定はありませんが、雨天時に路面排水が生じるため、水の濁りのおそれがあります。	有
	水生生物	公共用水域において掘削及び浚渫等により水底の改変を伴う工事、工事施工ヤードの設置、工事中道路の設置、トンネル工事を実施する場合に水の濁りや、雨天時の路面排水による水生生物への影響のおそれがあります。	有
	底質	対象道路事業実施区域及びその周辺には、人の健康の保護に関する環境基準項目の排出、使用又は生成する施設の計画予定はありません。また、「平成14年版長野県環境白書」及び「水質調査結果(長野県生活環境部公害課)」より、当該地域には汚染物質の確認情報がないため、土地の造成等による周辺環境への影響のおそれはありません。	無
	地下水質	対象道路事業実施区域及びその周辺には、地下水の環境基準を満足しています。また、「平成14年版長野県環境白書」及び「水質調査結果(長野県生活環境部公害課)」より、当該地域には汚染物質の確認情報はありませんが、トンネル工事を実施する場合に地下水の濁りのおそれがあります。	有
水象	河川・湖沼等	対象道路事業実施区域及びその周辺には、木曾川を水系とする数多くの河川や沢が存在するため、地形の改変や森林の伐採等による河川への流入水などの変化のおそれがあります。	有
	地下水	対象道路事業実施区域及びその周辺には、トンネル工事等の地下掘削工事及び橋脚等の工作物の設置がある場合、地下水への影響のおそれがあります。	有
	利水・水面利用等	対象道路事業実施区域及びその周辺には、沢水や地下水を主な水道水源としているため、工作物の出現などによる利水への影響のおそれがあります。	有
土壌汚染	環境基準項目	対象道路事業実施区域及びその周辺には、「平成14年版長野県環境白書」より、当該地域には汚染物質の確認情報がないため、土地の造成等による周辺環境への影響のおそれはありません。	無
地盤沈下		対象道路事業実施区域及びその周辺には、「平成14年版長野県環境白書」より、当該地域には地盤沈下の被害情報がなく、地盤沈下が生じやすい沖積地等もないため、周辺環境への影響のおそれはありません。	無
地形・地質	地形	工事の実施に伴い、土地の造成等が想定されるため、地形の改変があります。	有
	地質		
	土地の安定性	対象道路事業実施区域及びその周辺には、砂防指定地や急傾斜地、活断層など不安定な地形・地質が存在するため、土地の造成や工作物の出現などにおける土地の改変による影響のおそれがあります。	有
	注目すべき地形・地質	対象道路事業実施区域及びその周辺には、渓谷や活断層など注目すべき地形・地質が存在するため、土砂の採取や工事の実施における土地の改変による影響のおそれがあります。	有
植物	植物相・注目すべき個体・集団・種	対象道路事業実施区域及びその周辺には、妻籠のギンモクセイ、フクジュソウなど注目すべき植物種が多数存在するため、工事による樹木の伐採や土地の造成、工作物の出現、融雪剤の使用などによる生育環境への影響のおそれがあります。	有
	植生・注目すべき群落	対象道路事業実施区域及びその周辺には、赤沢のヒノキ林などの自然性が特に高い自然植生が存在するため、工事による樹木の伐採や土地の造成、工作物の出現などによる生育環境への影響のおそれがあります。	有
	土壌	対象道路事業実施区域及びその周辺には、自然が豊かな地域であるため、工事による樹木の伐採や土地の造成、工作物の出現などによる植物の生育基盤としての土壌への影響のおそれがあります。	有
	植生の保全機能等	対象道路事業実施区域及びその周辺には、水源かん養保安林等が存在するため、工事による樹木の伐採や土地の造成、工作物の出現などによる森林等の保全機能が低下するなど、周辺環境への影響のおそれがあります。	有
動物	動物相	対象道路事業実施区域及びその周辺は、猛禽類が多数確認されている動物相が豊かな地域であるため、工事による樹木の伐採や土地の造成、工作物の出現などによる生息環境への影響のおそれがあります。	有
	注目すべき個体群	対象道路事業実施区域及びその周辺には、クマタカやヤマメなど注目すべき動物が存在するため、工事による樹木の伐採や土地の造成、工作物の出現などによる生息環境への影響のおそれがあります。	有
生態系		対象道路事業実施区域及びその周辺は、森林を生息環境とする猛禽類が多数確認され、里山、河川を含む多様な生態系を有する地域であるため、工事による樹木の伐採や土地の造成、工作物の出現などによる生息環境への影響のおそれがあります。	有
景観	景観資源・構成要素	対象道路事業実施区域及びその周辺は、中央を木曾川が流れ、その両岸に急峻な山地が連なり、滝や渓谷、河川段丘、高原など、地域のシンボルとなる山地景観が存在するため、工作物の工事や出現などによる景観への影響のおそれがあります。	有
	主要な景観	対象道路事業実施区域及びその周辺は、木曾川を中央に両岸を山地で囲まれ、それらを眺めるための遊歩道や登山道も多数存在します。また、柿其渓谷や田立の滝、寝覚の床など良好な景観資源が多数存在し、遊歩道の一部からもそれらを眺望できることから、工作物の工事や出現などによる景観への影響のおそれがあります。	有
触れ合い活動の場		対象道路事業実施区域及びその周辺は、自然豊かな地域であり、自然と触れ合えるためのレジャー施設が多数存在するため、土地の造成や沢等の工事、工作物の出現などによる触れ合い活動への影響のおそれがあります。	有
史跡・文化財		対象道路事業実施区域及びその周辺は、江戸時代の主要な街道である中山道が通過し、歴史的、文化的に重要な史跡や名勝等の文化財が多数存在する地域であるため、土地の造成や掘削、廃材・残土等の発生などによる史跡・文化財への影響のおそれがあります。	有
廃棄物等	廃棄物	工事の実施に伴い、廃棄物等が排出されることが想定されるため、周辺環境への影響のおそれがあります。	有
	残土	工事の実施に伴い、残土が排出されることが想定されるため、周辺環境への影響のおそれがあります。	有
温室効果ガス等		道路の供用に伴う自動車の走行による二酸化炭素等の温室効果ガスの排出が考えられるため、地球温暖化の影響のおそれがあります。	有

表3.1.2(1) 環境影響評価の選定環境要素

環境要素	大気質			騒音	振動	低周波音	日照障害	悪臭	水質			水象		地形・地質			植物			動物			景観			廃棄物等		影響要因の選定の理由及び重点化・簡略化などの理由	
	環境基準項目	粉じん等	その他必要な項目						健康項目	生活環境項目	水生生物	地下水質	河川・湖沼等	地下水	利水・水面利用等	地形	地質	注目すべき地形・地質	植物相・注目すべき個体・集団・種	植生・注目すべき群落	土壌	植生の保全機能等	動物相	注目すべき個体群	生態系	景観資源・構成要素	主要な景観		触れ合い活動の場
環境要因																													
工事による影響	運搬（機材・資材・廃材等） ・工事用車両の運行 ・工事用車両によるロードキル																												
	採取（資材・土砂等） ・土砂等の採取 ・重機の稼働	注1	注1	注1	注1			注1						注2	注3	注3	注3	注3	注3	注3	注3	注3	注3	注3	注3	注3	注3	注3	
	樹木の伐採 ・樹木の伐採																												
	土地造成（切土・盛土） ・土工事 ・重機の稼働																												
	発破工事 ・トンネル発破																												
	掘削 ・掘削 ・重機の稼働	注1	注1	注1	注1			注1	注2	注1	注1	注2		注1	注1														
	杭打ち ・杭打ち ・杭打ち機の稼働																												
	工作物の工事 ・橋梁等構造物の工事 ・重機の稼働																												
	沢等の工事 ・護岸工事 ・重機の稼働																												

凡 例 : 環境影響評価を詳細に行う項目、 : 環境影響評価を標準的に行う項目、 : 環境影響評価を簡略的に行う項目、 : 一般的な保全対策で対応する項目

